

平成 27 年 5 月 25 日

平成 27 年度電気化学会北陸支部春季大会ならびに講演会記録

電気化学会北陸支部

「若手の会」および「夜なべ談義」（参加者 25 名）

日時：5 月 21 日（木）21：00～24：00

場所 辰口温泉（能美市辰口町 20 番地）

「未来のエネルギーを語り合おう」

パネリスト：井上光浩先生（富山大水素研）、辻口拓也先生（金沢大学理工）、
Phan Trong Tue 先生（北陸先端大マテリアル）

北陸支部恒例企画「夜なべ談義」と若手の会（わかってんのかい）を融合したシンポジウムを開催した。若手研究者 3 名、井上先生からは「次世代エネルギーの展望と実現に向けて」、辻口先生からは「ギ酸をエネルギーキャリアとした循環型社会の構築に向けて」、Tue 先生からは「Solution-processed Oxide Thin-Film Transistor for Bio-sensing application」の話があり、参加者全員で議論した。活発な論議が展開され、深夜まで意見交換は続いた。今回は、新しい試みもあり、成功した点、失敗した点はあると思うが、これからも、若い先生方、また「若い」と思っておられる大先生方に、より多くご参加頂き、この学術交流会を盛り上げるとともに、若手研究者の育成に繋げていきたい。

講演会（参加者 50 名）

日時：5 月 22 日（金）9：30～12：00

場所：北陸先端科学技術大学院大学（能美市旭台 1-1）

特別講演会

1. ホウ素系電解質の設計とそのイオニクス
松見紀佳先生（北陸先端科技大）
2. 石川県工業試験場における 3D プリンタの活用について
前川満良氏（石川県工試機械金属部）

講義型講演

1. レーザープリンタ黎明期における有機光導電体の開発
梅田実先生（長岡技科大）

松見先生からは、普及が進んでいるリチウムイオン二次電池向けに、課題となっている安全性に配慮した有機ホウ素系高分子固体電解質の設計についての研究の話を、石川県工業試験場の前川氏からは、近年急速に注目度が上がっている 3D プリンタの適用事例について、特別講演を頂いた。また、梅田先生からは講義型講演として、レーザープリンタ黎明期に先生が取り組まれた有機光導電体の開発について講演頂き、学生から多くの質問が出たことは、学生のより多くの参加を目指した今大会の趣旨にあった講演会となったと思われる。

見学会（参加者 36 名）

日時：5 月 22 日（金）14：00～15：30

場所：（株）ジャパンディスプレイ石川サイト石川工場

会社概要説明、完全自動化による製造工程の見学、ショールーム見学が行われた。
各セクションで活発な質疑応答がなされ、興味深い工場見学となった。
今後、大学との共同研究等にも繋がっていけば良いと考える。

以上